

No.34
2023.12

らぶく

目次

図書館と私	1
メリークリスマス！ サプライズブック	1
本と雑誌のリサイクル市 開催しました！	2-3
おススメの一冊 学生編	4-5
おススメの一冊 教職員編	6-7
なんでもリクエストカードの声	8
新着図書案内	9-11
図書館からのお知らせ	12
編集後記	12

図書館と私

教室での学びに積極的ではなかった小学生の私にとって、学校で一番楽しい場所は、体育館とグラウンドであった。遊び惚けていても、父母に勉強を強く求められることはなかったが、母に「本を読んで言葉をたくさん知るとは、心を豊かにすることです」と、それとなく読書習慣を促されたことは記憶している。ただ、実際に本や図書館との出会いを作ってくれたのは、『ファーブル昆虫記』を暗記するほど読んでいた兄であった。「ちょっと行ってみるか」と足を運んだ図書館は、不思議に魅力的な匂いに満ちており、絶対に必要とまでは思えないが、本や人との出会いをドラマティックに演出してくれる空間であった。

図書館が必要不可欠なものであると知ったのは、大学に入学してからだった。入学直後の英文科のオリエンテーションで、老教授が、「大学では教員と図書館は使いたい放題」とおっしゃった。「図書館に行け。本を読んで疑問を持ったら、考えよ。考えても判らなければ、教員に質問せよ。有難いことに、授業料以外、すべて無料だ」。当初は「変なお爺さん」と

管理栄養学科 教授 太田 直也

思ったものだが、授業が始まってみると確かに読まねばならない本は多い。必要に迫られて図書館を覗いてみると、書店には並んでいない本や、厳めしい名前の付いた雑誌が並んでいる。

当然、予期していなかった本との出会いもある。こうして、決して勤勉な学生ではなかった私も、「それなりに」図書館に通うことになった。図書館で読んだルソーの『新エロイズ』とニーチェの『悲劇の誕生』が、後に大学院博士後期課程の入試に出題されたのは、望外の幸だったと言えようか。

母が願った心豊かな人間や、老教授が求めていた博識な大人になれたわけではないが、読書の必要性と、図書館の存在意義はよく理解できたと思う。読書はあらゆる人間にとっての「仕事」だ。図書館は地域社会にも必要不可欠な存在であるが、教育と研究の場である大学にとっては心臓部である。



メリークリスマス！サプライズブック

図書館1階展示コーナーで、図書館スタッフが選んだ、心温まる本を福袋にして貸出しています。思いがけない本との出会いがあるかもしれません。ぜひお越しください。



☆自由に
お持ち帰り下さい
無料です!
☆☆



学生図書館委員
15名が
頑張りました!

かざりつけも
まかせて!



読みたかった
あの本に
出会えるかも...



協力いただいた
皆様、ありがとう
ございました!



座って
ゆっくり読める
コーナーも
あります



絵本、文庫本、
専門書など
図書委員や職員が
持ち寄った本が
558冊!

10月21日(土) 22日(日) 第52回天神祭

本と雑誌のリサイクル市

開催しました!

4年ぶりのほぼ通常開催となった
今年の天神祭。
読み終えた本を次の人に
バトンタッチする場所として
図書館を活用して
もらいました。

Trick or Treat!

こちらは
ハロウインの
展示です



おすすめの1冊



がいた本は図書館で
所蔵しています

学生編



『同志少女よ、敵を撃て』

逢坂 冬馬 著
早川書房



請求記号
913.6 0



独ソ戦が激化する1942年、モスクワ近郊の農村に暮らす少女セラフィマは、突如急襲したドイツ軍によって、母親ほか村人たちを惨殺されました。セラフィマも例外でなく母親同様に射殺されそうになりますが、寸前のところで赤軍の女性兵士イリーナに救われました。その直後、生きた屍のセラフィマに彼女は「戦いたいのか、死にたいか」問います。戦うことを選んだセラフィマはドイツ軍に復讐するために同じ境遇で家族を喪った女性たちと共に一流の狙撃兵になることを決意します。私は元々、復讐を題材とした本が好きで、あらすじとタイトルに惹かれて「読んでみようかな」と考えました。本書を読み進めていくうちに劇的な展開を期待してしまい、結果すんなり読むことができました。女性狙撃兵たちが体験した“真”に迫る深刻さに私は魅了されたのかもしれませんが、「同志少女よ、敵を撃て」は私を切なくさせた考えさせられる一冊です。ぜひ読んでみて下さい。

(管理栄養学科2年 山川 幹太)

『猫の惑星』

梶尾 真治 著
PHP研究所



請求記号
913.6 K



私がおすすめする本は「猫の惑星」です。タイトルにある通り物語に猫が出てくるのですが、最初はある1人の少年イクオという子の視点から話が始まります。イクオが住んでいる場所は「シテン」と呼ばれるとある施設、そこで立派な大人になるための勉強や訓練をしながら一緒に住んでいる子どもたちと共に生活しています。しかしその場所はイクオ達の能力を育て数々のミッションをこなすよう教育する秘密組織だったのです。

その事実をイクオに教えたのが、なんとイクオと会話できる猫でした。その猫はウリと言い、「猫の王」に会うためイクオに施設から脱出して一緒に来て欲しいとお願いします。果たしてイクオの脱出は、猫との冒険の結末はどうなるのか、いっぱい出てくる猫と共にぜひ楽しんでください。

(臨床検査学科2年 長瀧 こはる)

『とある魔術の禁書目録』

鎌池 和馬 著 KADOKAWA



請求記号
913.6 K



この作品は私が小学生の頃、友人に勧められて出会ったものです。ライトノベルといえば「転生したらスライムだった件」や「ソードアート・オンライン」、「Re:ゼロから始める異世界生活」など本をあまり読まない方でも知っている作品があるのではないのでしょうか。それらと共に並ぶこの作品は2004年から刊行されており、現在短編集を含め54巻まで刊行されている長編作品です。

原作の小説「とある魔術の禁書目録」をはじめ、漫画である「とある科学の超電磁砲」、「とある科学の一方通行」などでは番外編や別世界線を楽しむこともできます。本編も漫画化されており、小説を読むことが苦手な方でも入りやすい作品です。

ここは超能力が科学により解明された世界。超能力開発をカリキュラムに組み込む巨大な学園都市に住む1人の高校生、上条当麻のもとに純白のシスターが現れました。彼女は禁書目録(インデックス)と名乗り、魔術師に追われていると語ります。こうして上条当麻は、科学と魔術が交差する世界に足を踏み入れていくこととなりました。

SFとファンタジーが融合し、超能力や兵器などオーバーテクノロジーが詰まった「科学サイド」と聖書や魔術などが詰まった「魔術サイド」が混在し対立する世界で繰り広げられるバトルアクション作品です。

ベランダに引っかかっていたシスターは一体何者なのか、彼女を追っている魔術師とは?外伝も含め魅力的なキャラクターたちで構成されたこのシリーズ。ぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。

(幼児保育学科1年 藤本 愛可)

『新しい造形と美術：原色学習図解百科10』

原色学習図解百科編集部 編
学研

私がおすすめする本は「新しい造形と美術10」という本です。本というよりは美術の作品が載った図鑑なのですが見るだけでも楽しい本です。建物や乗り物のような身近な物から、舞台や伝統の美といった少し連想しにくいテーマまで幅広く載っています。

この本のとあるページに「未来の住宅」という当時の人たちが「未来の私たちはどんな家に住んでいるのだろう」というテーマで予想図が広げられたページがあります。その図を見てみると今ではありえない形をした建物やビル、浮いている車などが描かれております。今の技術ではありえない風景ですがいつかはこの図のような街並みになるのかなとふと考えてしまいます。

この他にも「理科実験器具」や「埴輪」といった“どうしてそこに注目した?”とツッコミを入れたいようなページがあります。ただ普通に見るのではなく“ここは絶対見ないだろう”と思われる視点から写真や解説が載っているのぜひ見てみてほしいです。

どのページも遊び心に溢れていて読みごたえのある本です。見慣れた風景でもこの本を見た後だとまた違った風景に感じられます。写真がメインの本で暇潰し程度にも気軽に見られる本なので図書館などで見かけたらぜひ読んでみてください。

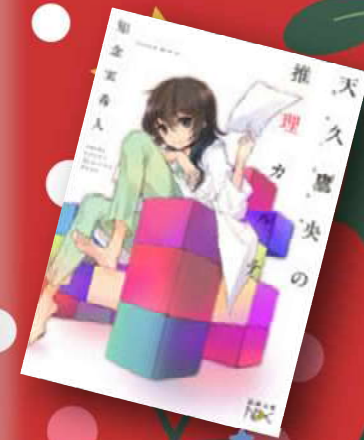
(歯科衛生学科1年 高田 桃佳)

『天久鷹央の推理カルテ』

知念 実希人 著
新潮社



請求記号
913.6 C



私が紹介する本は、『天久鷹央の推理カルテ』です。

この本の主人公である天久鷹央は「読了した本を一言一句違わずに暗唱できる」「森羅万象に精通している」といった天才的な能力や知識を有しています。その反面、私たちが苦なく行える「場の空気を読む」「敬語を使う」「比喩表現やことわざを理解する」といったことが出来ません。私は最初、天久鷹央は天才だと称賛されているのだと思っていました。しかし、社会において人間関係を良好に保つスキルが無いことの方が目立ち、周囲から嫌悪感を抱かれていることを知り、多種多様な人を受容する社会はまだまだ進んでいないのだと気付かされました。

超人的な頭脳、無限の好奇心、膨大な知識を持つ反面、人間関係の構築が難しい天久鷹央が謎に立ち向かっていくこの物語を一度読んでみてください。

(看護学科2年 折野 美咲)

『目でみることば 2』

おかべたかし文 山出高士写真 東京書籍

請求記号 812 O

私たちが日常、何気なく使っている言葉の意味や由来を見開きのページで紹介しています。まず、言葉と写真が示されていて、次にページをめくるとその言葉の意味の説明があります。今年には38年ぶりに阪神タイガースが日本一になりましたが、虎の文字が入った「虎視眈々」も「機会を狙って様子をうかがう様」として、目つきの鋭い堂々とした虎の写真とともに示されています。

また、「醜陋味」は「物事の本当の味わい、本当の面白さ」として書かれています。昔懐かしい麦わら帽子の少年の前にカルピスが置かれ、少年は、今にも飲みたいという感じでグラスに手を伸ばしています。

そして言葉の説明としては、仏教用語の乳製品の味わいを指す言葉として、乳味、酪味、生酥味(しょうそみ) 熟酥味(じゅくそみ)、醜陋味があり、醜陋味が最高位であることが書かれています。

たまたま、家にあった本ですが、隙間時間や疲れた時に開くと癒されます。

(管理栄養学科 教授 徳広 千恵)



『かみきこうち』

神木 隆之介 著 NHK出版

請求記号 291.84 K

連続テレビ小説で牧野富太郎を務めた神木隆之介さんが、高知県の魅力を紹介するビジュアル紀行ガイドです。高知県内を旅しながら、インタビューや様々な体験を通して、高知の方々のおおらかさや文化、自然豊かな風景を伝えてくれます。埼玉生まれの神木さんに映った高知県は、事前の想像を超えて「奇跡の県」と感じたそうです。気軽に読める構成になっており、自分の住む地域の魅力を深く知り、疑似体験することで、魅力ある郷土へ誇りを感じられることと思います。以前、本学に海外からの留学生が滞在した際、高知県ならではの観光や食事へ同行しましたが、ここまで文化的な部分まで深掘りして伝えられていなかったかもしれません。皆さんにも、どこかで誰かに「高知はどんな土地？」と聞かれることがあるかと思いますが、その様な機会が訪れるまでに、是非、手に取って読んで見て下さい。もちろん、素敵な構図で撮影できるフォトスポットの紹介もありますので、お出かけの参考にもなりますよ。

(歯科衛生学科 助教 内田 智子)



『高知遺産』

高知遺産プロジェクト 著 ART NPO TACO

請求記号 K291.84:K

20数年前から比べると、高知の街は様変わりしました。高知駅の自動改札、列車の高架化、おしゃれな建物、ショッピングモールに大型店舗、広くて大きな道路...など、土地区画整理に伴い景色は変わりつつあります。20数年前、皆さんはまだ子どもだったでしょうか、中高生、大学生もしくはもう大人になっていたでしょうか？

今回紹介するこの「高知遺産」は、今はもうなくなってしまった、あの頃見ていた景色に出会える一冊です。私自身は当時高校生で田舎からバスと電車を乗り継ぎ市内の高校に通っていました。バスで通っていた道は、今は新たな住宅地や大きな道路が出来て道があった場所は面影もありませんが、この本の中で見つけた時はバスの車窓から見ていた景色が次々と頭の中に現れ一気に女子高生の自分に戻りました(気持ちか)。

高知愛に溢れる一冊ですが、高知が地元という方だけではなく県外から高知に来られた方や、あの頃まだ産まれていなかったという方もこの本を読んで、当時から変わってしまった風景やその片隅に今でも残っている風景をぜひ探してみてくださいなと思います。短大・大学周辺の景色もいくつか遺産として収録されているので、この本を読んで今はない、または残されている風景を見つけてみてはいかがでしょうか？この本、今は絶版本ですが、市町村の図書館や古本屋で出会えます。探しに行くのも楽しみの一つではないでしょうか。

(臨床検査学科 助教 松崎 梢)



がついた本は図書館で所蔵しています

『看護学科学生用雑誌』

保健師、看護師、保育士、歯科衛生士、管理栄養士、臨床検査技師...本学で学び取得できる資格で働く職種は専門職と呼ばれます。専門職とは特別な知識や技術を求められる職種で、学生の皆さんは専門職として必要な知識・技術・態度を身につけるために頑張っていることでしょうか。

どんな仕事にも責任はつきものですが、専門職の仕事はとりわけ重い責任が伴います。また、専門職として働くということは、その分野に精通している専門家になるということです。知識や技術は進歩し、世の中の変化により専門職に求められるものも変化します。専門職として進化し必要な情報を得るには、その分野の雑誌を読むことが重要です。学生には、学生用の雑誌があります。学習内容の理解、資格試験の準備、就職に関する情報等々、役立つ内容が満載です。

図書館に行った時には、自分が関わる分野の学生用の雑誌を手にとってみましょう。必ずあなたの今と将来を広げてくれると思います。

(看護学科 教授 伊東 美佳)



雑誌は館内でご覧下さい 貸出はできません

『アルフレッド・アドラー 人生に革命が起きる100の言葉』

Adler, Alfred 述 小倉 広 著 ダイヤモンド社

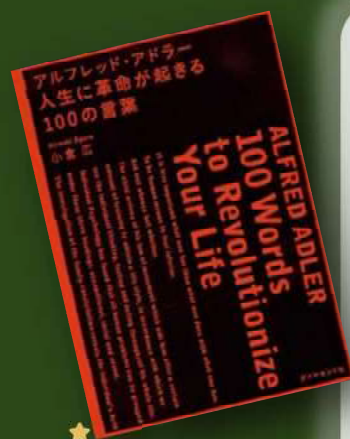
請求記号 159 A

アルフレッド・アドラー(1870-1937)はオーストリア出身の心理学者で、アドラー関連の本の中では『嫌われる勇氣』が有名ですが、当書は自己決定性に関する言葉から、共同体感覚や教育に関する言葉まで、シンプルかつ明快な名言が記載されています。

アドラー心理学に基づく教育では、「ほめず、叱らず、勇気づける」という考え方が基礎にあります。ほめる、叱る代わりに推奨されているのが「勇気づけ」であり、ほめてあげるよりも、もっと子どもを勇気づけるのは、「うれしい、助かった、ありがとう」といった感謝の気持ちを伝えること。共感し感謝を伝える声かけをすることによって、子どもは誰かの役に立つことに喜びを感じ、自分で考えて行動できる大人に育つと、アドラーは説いています。これらは教育に限らず、職場での人間関係や人材育成においても当てはまる考え方ですから、皆さんの今後役立つヒントがきっと見つかることと思います。

人は「貢献感」を感じ「自分に価値がある」と思えるときにだけ、勇気をもつことができる。(当書No82)

(幼児保育学科 准教授 溝渕 司)



『楽園のキャンパス』

原田 マハ 著 新潮社

請求記号 913.6 H

オススメする1冊は、旅と絵が好きな私に友人がおしえてくれたアート小説です。本書表紙の絵はアンリ・ルソーの「夢」。ホンモノはニューヨーク近代美術館にあります。この「ホンモノ」を巡って、スイスに住む伝説のコレクターから極秘のミッションが届いた先は...大原美術館の監視員とニューヨーク近代美術館のキュレーター。なぜこの二人に？あとは読んでのお楽しみ♪ミステリーの要素もあるので、美術に詳しくなくてもドキドキが加速するような没入感を味わえます。

ルソーのことは代表作の一つ「眠るジプシー女」くらいしか知らなかったのですが、著名な画家をわかりやすく解説した絵本『子どものための美術史』(西村書店)と並行して読みました。税関の仕事しながら独学で絵を学んだルソーは「日曜画家」と呼ばれ、のちに本業を画家に転向しますが、生前は全く評価されませんでした。でも、今では世界中の美術館に彼の作品があります。本学にも、1号館玄関の壁面に「眠るジプシー女」、6号館通用口に「夢」が飾られていますね。

悔しかったのは、ニューヨーク近代美術館に行ったことがあるのに、この「夢」を見た記憶がないこと。当時のアルバムを引っ張り出して確認すると「眠るジプシー女」の絵葉書が挟んであって、思わず「惜しい」とつぶやきました。果たしてルソーはどんな「夢」を思い描いていたのでしょうか。

キュレーターでもある著者が仕掛けるアートの魔力を、ぜひ追体験してみてください。

(図書課 非常勤職員 島中 智恵子)



図書館開館時間延長のお知らせ

令和6年2月29日までの期間、図書館は開館時間を延長します。

平日 8時30分～20時50分

土日 9時～16時50分

※祝日・年末年始・1月23日(火) 2月3日(土)閉館

※2月2日(金)は16時閉館

その他行事などにより開館時間の変更がある場合は
事前に掲示等でお知らせします。

蔵書点検

9/20(水)～9/22(金)の3日間、蔵書点検を実施しました。蔵書点検は毎年1回実施し、主に「本が無くなってないか」と「間違った場所におかれてないか」をチェックします。今年は9名の学生アルバイトの力を借りて約8万冊の点検を終えることができました。

期間中は図書館が利用できず、ご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。



ホームページもご覧ください
<https://www.kochi-gc.ac.jp/toshokan/>

卒業予定のみなさんへ

- 資料の返却期限は
3月15日(金) 卒業生オリエンテーションです。
全ての資料は、この日までに必ずご返却ください。
卒業後も館内での閲覧及び複写、資料の貸出などのサービスを受けることができます。
- 貸出利用の際は、図書館カウンターで登録が必要です。
免許証など身分証明書を持参してください。

編集後記

らぶつく第34号をお届けします。寄稿してくださった学生の皆さん、先生方、ありがとうございました。
開館時間を延長しています
図書館をどんどん
利用してくださいね!